

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成30年 1月31日更新

事務事業名	生涯学習出前講座事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	3	教育の健康		所属部	教育委員会事務局	課長名	北里利朗
	施策	10	生涯学習の推進		所属課	生涯学習課	担当者名	大隅理央
	施策の柱	37	学習の啓発と参加機会の提供		所属班	生涯学習班	(内線)	1515
予算科目	会計一般	款 10	項 5	目 1	事業連番 10768	根拠法令	成果優先度評価結果	: ①
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	コスト削減優先度評価結果	: ②

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市職員等が講師となって、地域の求めに応じ出前形式での説明、指導を行なう。旧合志町が町政全般の啓発や、地域の生涯学習活動のきっかけづくりとして、平成10年度から開始された。依然として、スポーツ推進委員による軽スポーツ教室の依頼が多い。しかし、今年度はマイナンバー制度の導入により、マイナンバー制度についてや詐欺防止の内容、防災関連、悪質商法などの消費生活講座などの依頼も増加している。その他には、交通安全教室、健康教室、ゴミについての教室などがある。 類似事業のため、生涯学習講座開催事業(10794)に統合。
【業務の流れ】	市内在住または在勤、在学の5名以上のグループを対象に、主に市職員等が講師となって、既定のメニューから選んでいただいた市の業務や各公的制度の説明、スポーツ実技指導等を行なう。
【主な予算費目】	報償費
【意見や要望】	もっと制度を周知して市民が利用しやすいようにするべきと、議員等からの意見があったため、ホームページ内での紹介と申請書様式の掲載を行なっている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
【前年度内容】 軽スポーツ教室、消費生活講座など延べ56講座を出前開催した。 b	軽スポーツ教室、消費生活講座、マイナンバー制度について、防災講座等
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 出前講座開催回数	55回 生涯学習講座開催事業(10794)へ事業統合に伴う減額
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
市民	→ ア: 人口 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
市の取り組みや事業に理解してもらう。また軽スポーツ教室や生活習慣にも目を向けていただき、健康についても意識を高めてもらう。	→ ア: 出前講座に参加した市民の数 人
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	55回	31	56	65	55				
② 対象指標	ア	人	59,067	59,775	60,100	610,220				
③ 成果指標	ア	人	1,334	3,136	3,000	2,686				
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	千円	66	97	128	100				
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0				
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0					
人件費	正規職員従事人数	人	2	0	1	1				
	延べ業務時間	時間	305	80	80	80				
	(B) 人件費計	千円	1,215	0	318	0				
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,281	97	446	100				

事務事業名	生涯学習出前講座事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 自治会や学校PTAや地域住民から多くの申請や相談を受けているが、目標は達成しなかった。
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 問い合わせ・要望自体は多いため。 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 出前講座を知らない団体も多いため。 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 市の事業を説明に出向く類似事業が無い。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 職員が勤務時間内に出向く場合は、業務として行っており、謝金は発生していないため。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小の人員・時間で行なっているため削減は困難である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政の業務内容を周知する事業なので、他団体に移行は出来ない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

自治体の活動、学校のレクリエーションでの申し込みが増加した。講座メニューも増えたため、さらなる周知を行なう。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善 (有効性改善)
事業のやり方改善 (効率性改善) 事業のやり方改善 (公平性改善)
現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策